

音楽科（器楽合奏）調査資料 1 - 1

項目	書名 中学器楽 音楽のおくりもの	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○知識・技能を身につけながら様々な楽器や楽曲に親しみ、演奏する活動を通して、音楽を楽しんで愛好する態度が身につくよう配慮されている。</p> <p>○楽器の写真や楽器の演奏法をわかりやすく示した写真や図が載せられ、様々な楽器や多様な音楽に興味関心がもてるよう配慮されている。</p>	
特 色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各楽器の構造や名称が明らかで、各楽器の歴史と共に演奏方法を身につけられるよう配慮されている。</p> <p>○演奏のポイントや吹き出しによる演奏方法についての説明があり、わかりやすく技能を習得できる工夫がされている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○Let's Play の楽曲では、目標が記されており、学習内容を把握しやすい。また、音楽の構成要素についても説明されている。</p> <p>○歌唱や創作と関連させた学習ができるよう楽譜の歌詞を載せたり、「音のスケッチ」の活動を具体的に示したり、表現や意欲の高まりにつながる工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各楽曲のページに運指表を載せ、無理なくリコーダーの奏法を身につけられるように教材が配列されている。</p> <p>○各楽譜ごとに演奏者のコメントがあり、生徒の意欲を高める工夫がある。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b></p> <p>○演奏のポイントでは、工夫して演奏する要点を示し、創意をこらした演奏ができるよう工夫されている。</p> <p>○リコーダーについては、ソプラノ・アルトの両方で演奏できるような工夫がされている。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めさせる工夫&gt;</b></p> <p>○Let's Play Let's Try では、多様なジャンルの曲を取り入れ、幅広い活動ができるように工夫されている。また、編曲や構成の工夫もある。</p> <p>○「合わせて演奏しよう」や「名曲旋律」では、外国の曲や日本の伝統音楽、クラシックや映画などの音楽旋律をリコーダーや他の楽器で演奏し、幅広いジャンルの曲に興味関心をもって取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○鑑賞曲と関連付けて、楽器でも演奏できるような工夫が見られる。</p>	
資 料	<p>○口絵では、楽器の演奏風景や演奏家のメッセージが紹介されており、視覚的に訴え、興味関心を高めるような工夫がされている。</p> <p>○見開きで、「ギター&amp;キーボードコード表」などが示されており、鍵盤のイラスト、ギターのポジションを示す写真が並記され、一層理解しやすいように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○表記、説明は平易であり適切にまとめられている。</p> <p>○音符の表記が多様で、音符が見やすい。</p> <p>○楽譜については、ゆったりとした段で表記されており、階名を書きやすく、演奏時に見やすく工夫されている。</p>	
総 括	<p>○各楽器の構造や名称を明らかにし、楽器の歴史や演奏方法を身につけられるよう配慮されている。</p> <p>○歌唱と創作と関連させた学習ができるよう楽譜の歌詞を載せたり、「音のスケッチ」の活動を具体的に示したり、表現や意欲の高まりにつながる工夫がされている。</p>	

項目	書名 <h2 style="text-align: center;">中学生の器楽</h2> <span style="float: right;">27 教 芸</span>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○各楽器の基本的な奏法を学びつつ、発達段階に応じて基本的な技能を習得できるよう配慮されている。</p> <p>○なじみのある楽曲を取り入れ、アンサンブルを通して、音楽を愛好する心情を育て、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫がされている。</p>
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b> ○楽器の特徴を理解させ、構えや基本的な奏法について、写真やイラストによりわかりやすく解説されており、技能の習得がしやすい工夫がされている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○楽器の特徴、音色、奏法を理解したうえで、アンサンブル学習に取り組めるよう、曲の構成や奏法を工夫して創作活動が行えるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○「音楽学習MAP」と「学習の窓口」とを対応させ、目標と共に系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○パートの役割について学習し、アンサンブルでは、役割と全体の響きを考えて楽器の選択を自分たちの考えで進めるよう構成されている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b> ○生徒になじみのある曲を取り入れたり、歌唱教材や鑑賞教材と関連した曲を扱い、意欲的に取り組める工夫がされている。 ○運指表やダイヤグラム、音楽の約束を巻末に載せ、繰り返し確認しながら技能を伸ばすための工夫がされている。 ○「音を聴いて確かめよう」では、「楽器の音色」に焦点を当てて楽器の特徴を理解できる構成になっている。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めさせる工夫&gt;</b> ○日本の伝統音楽の楽器編成について、わかりやすく写真で示されている。 ○和楽器については、詳細な記載があり、日本の音楽文化について理解を深めることができる。 ○「音を聴いて確かめよう」「和楽器のこぼれ話」のコラムなど、演奏方法などの掲載にとどまらず、姿勢や礼儀などに関する内容も示されている。 ○演奏のポイントや練習方法が各教材に示されている。</p>
資 料	<p>○楽器を理解するために楽器の構造や演奏シーンの写真がたくさん掲載されている。</p> <p>○「楽器の音色を聴いてみよう」では、音色を確認するための補助的教材が示されている。</p>
色	<p>○言葉による説明に加え、写真や図により効果的に理解できるよう工夫されている。</p> <p>○和楽器では、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。</p> <p>○演奏や練習のポイントも的確に示されており、各教材に扱われている記号や用語の解説が四角囲みで示されている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各楽器の特徴を理解させ、構えや基本的な奏法について、わかりやすく解説されており、技能の習得がしやすい工夫がされている。</p> <p>○なじみのある曲を取り入れたり、歌唱教材や鑑賞教材と関連した曲を扱い、創作活動にも配慮し、意欲的に取り組めるよう工夫がされている。</p>
総 括	<p>○各楽器の特徴を理解させ、構えや基本的な奏法について、わかりやすく解説されており、技能の習得がしやすい工夫がされている。</p> <p>○なじみのある曲を取り入れたり、歌唱教材や鑑賞教材と関連した曲を扱い、創作活動にも配慮し、意欲的に取り組めるよう工夫がされている。</p>